



100歳 おめでとうございます

3月20日に浦部シヅさん、3月25日に黒田ミツエさん、3月30日に西川シヅマさんが100歳の誕生日を迎えられました。



浦部シヅさん (原)

3人の子どもを育て上げ、苦勞の中でも「泣いても笑っても一生、笑わな損」と明るく乗り越えてきました。週5日通っているデイケアでは、カラオケで「上を向いて歩こう」を歌うのがお気に入り。毎日家族の健康を祈っています。



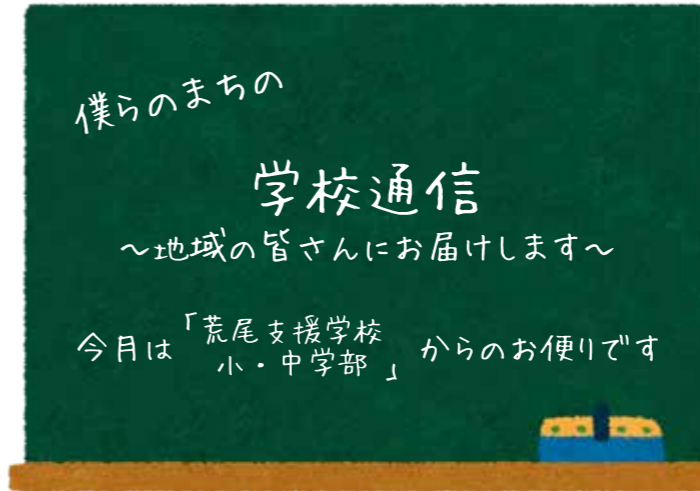
黒田ミツエさん (昭和町)

6人の子どもを育て上げた、優しく芯がしっかりしたおばあちゃん。今も、何でも自分の力でこなします。畑作業では耕すのも草むしりもお手の物。「家族に心から感謝しています。長生きの秘訣は信じる心」と話していました。



西川シヅマさん (古庄原)

昔は東京の料亭で働いており、その後は有明高専の寮で料理の腕を振るっていました。おしゃれが好きで美容にも気を使っていたので、肌は今でもつやつや。「負けず嫌いできっちりした気丈な人です」と家族は話していました。



「荒尾の自然、歴史や文化」

について学ぶ子どもたち

—体験を通した学びの機会 中学部一般学級の取り組み—

荒尾支援学校では、「総合的な学習の時間」や「理科」、「社会」の授業で、荒尾市などの自然や歴史・文化について理解を深める学習に取り組んでいます。例えば、「理科」の時間に荒尾干潟に生息する生きものについて調べ、「社会」の時間に荒尾市の地理について学ぶなどしています。

Photo Report 「総合的な学習の時間」

荒尾干潟に生息する生き物の特徴について学びました。



干潟へと足を運び、生き物を探します。その後は荒尾市漁業組合の人から、干潟に生息する生き物の特徴についての説明も受け、理解を深めました。



採取した生き物を、海に帰す前にスケッチしました。普段近くで見ることができない生き物たちを、真剣なまなざしで観察しました。



学校に戻った後には、事後学習として体験学習のまとめを班ごとに発表しました。

体験を通した学びの機会は、多くのことを楽しく学ぶだけでなく、そこで暮らす多くの人々との触れ合いを通して実際の生活を知り、地域資源の豊かさや人の優しさに触れることのできる貴重な時間になっています。

おまな内容 main contents

学校通信	2
まちの話題	3
健康福祉まつりを6月2日(日)に開催	6
保健・健康	8
子育てのひろば	10
市民病院からのお知らせ	12
あらおのいきいき企業	13
くらしの情報	14
試験・募集・イベント	21
はじめてのHAPPY BIRTHDAYなど	27
図書館情報	28
文化センター情報	29
相談の窓口など	30
医療・あらおカレンダー	32

3/1 安心安全な学校給食を目指して
～給食センター整備にかかる基本合意調印式～



市は長洲町と学校給食センターの施設整備を共同で整備することに合意しました。市役所で調印式を行い、安心・安全でおいしい給食の提供を安定的に行うことを目的として、「新学校給食センター」の整備を共同で進めていくことを確認しました。学校給食センターは、平成20年4月から長洲町の学校給食を受託し、荒尾市全小中学校13校と長洲町全小中学校6校、荒尾支援学校の計20校に年間約5,800食の給食を提供しています。

3/1 それぞれの目標にむけて前進
～三光育英会奨学金交付式～



三光育英会の奨学金交付式を市役所で行いました。三光株式会社支援の下、昭和34(1959)年に創設し、ことしで61年目です。市内の中学校卒業生から選ばれた人物・学業ともに優秀な高校生(高専生)を対象に交付しています。今回、新たに14人の奨学生が選ばれました。奨学生代表あいさつで、山田伊織さんは、「夢である中学校の国語の先生になるために、勉学に励み教養を身につけたい。将来は荒尾の子どもたちを指導したい」と決意に満ちた表情を見せました。

声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙]
福祉課係 ☎ 63-1406

荒尾市ホームページ
http://www.city.arao.lg.jp/

★荒尾市強調月間★

5月は「市政を考える月」

UD FONT by MORISAWA
広報あらおは見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。